オフライン環境の.NET Framework 3.5SP1 の
インストール方法

はじめに

TKC システムの動作環境には、.NET Framework 3.5SP1 がインストールされていることが必要です。(以降 DFW35 と略します。)

DFW35 は、Windows8.1 以降で規定のインストールでは有効化(インストール)されていません。

また、OS を標準設定でインストールされた Windows には、.NET Framework 3.5 を有効化するためのソースとなるファイルが存在していないため、インターネット上もしくはインストールメディアから用意する必要があります。

Windows Update に直接繋がる環境であれば、コントロールパネルの下記操作で DFW35 を簡単に有効化する事が出来ます。

【ご参考】オンライン環境下での DFW35 の有効化

下記のマイクロソフトのサイトの「コントロール パネルで .NET Framework 3.5 を有効にする」をご参照ください。

https://docs.microsoft.com/ja-jp/dotnet/framework/install/dotnet-35-windows-10

上記方法で有効化できない場合は、オフライン環境で有効化を行っていただく必要があります。

当手順書では、オフライン環境での DFW35 の有効化の方法を 2 つ説明します。

1 つ目は、Windows イメージからインストールする方法で、2 つ目はシステムのＩＳＯ（ＤＶＤ）からインストールする方法です。

初めに、下記Ⅰの Windows イメージからのインストールを行ってください。

うまくインストールできない場合は、引き続き下記ⅡのシステムＩＳＯ（ＤＶＤ）からのインストールを行ってください。

※下記Ⅰは Windows10 専用の方法のため、Windows8/8.1 をご利用の場合は、下記Ⅱの方法を行ってください。

目　次

Ⅰ　Windows イメージから DFW35 をインストールする方法
（Windows10 専用）. 1
1．Windows10 用のＩＳＯイメージファイルの作成. 1
2．DFW35 のインストール. 4
3．DFW35 のインストール確認 8
【ご参考】NET Framework 3.5 インストール時のエラー0x800F0906、0x800F081F、
0x800F0907、0x800F0922. 9
Ⅱ　システムのＩＳＯ（DVD）より DFW35 をインストールする方法. １０
1．連結納税システム(eConsoliTax)のＩＳＯの取得. １０
2．DFW35 のインストール. １３
3．DFW35 のインストール確認 １４

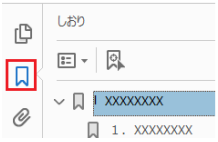
【ご参考】PDF のナビゲーション(しおり)の表示方法

1．Acrobat Reader の場合

(1) F4 キーを押下して「ナビゲーションパネル」を表示します。

(2) 「しおり」ボタン(下記赤枠)をクリックし、しおりを表示します。

※しおりが設定されていない場合、「しおり」ボタンは表示されません。

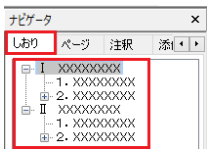


2．Sky PDF Viewer の場合

(1) メニューの「表示(V)」＞「ナビゲーター(N)」をクリックします。

(2) 「しおり」タブを選択します。

※しおりが設定されていない場合、「しおり」タブには何も表示されません。



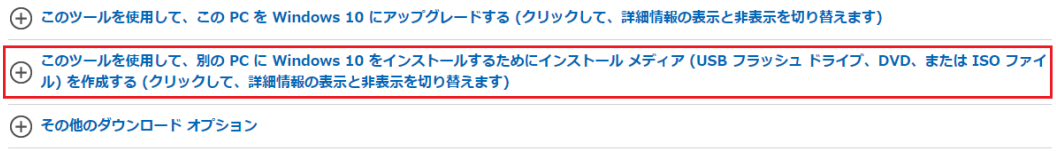
Ⅰ　Windows イメージから DFW35 をインストールする方法（Windows10 専用）

1．Windows10 用のＩＳＯイメージファイルの作成

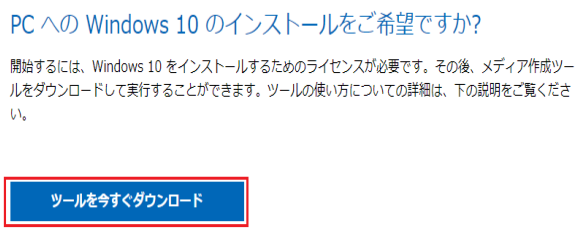
下記Microsoft 社のサイトより Windows10 用の ISO イメージファイルの作成ツールをダウンロードします。

https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10

※　下記の(1)～(8)の対応前に、上記サイトの下記赤枠の「このツールを使用して、別のＰＣに Windows10…を作成する（クリックして、詳細情報の表示と非表示を切り替えます)」をご参照ください。



(1)「ツールを今すぐダウンロード」をクリックし、デスクトップなど任意の場所に「MediaCreationTool20H2.exe」をダウンロードします。



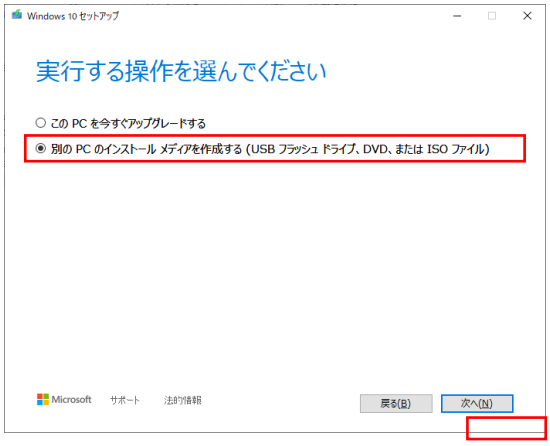
(2)「MediaCreationTool20H2.exe」を右クリックし、「管理者として実行」で実行します。



(3) ライセンス条項に同意します。

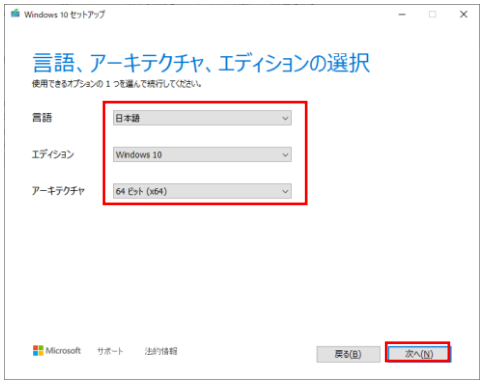


(4) 「別のＰＣのインストールメディアを作成する(USB フラッシュドライブ、ＤＶＤ、またはＩＳＯファイル)」にチェックを付けて「次へ」ボタンをクリックします。



(5) 下記の設定を行い、「次へ」ボタンをクリックします。

言語「日本語」、エディション「Windows10」、アーキテクチャ「ご利用のＰＣのビット(※)」を設定します。

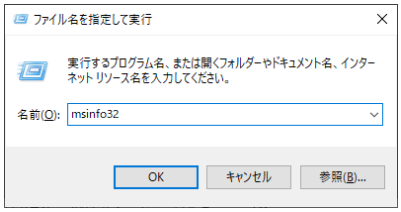


【ご参考】ご利用のＰＣのビット数の確認方法

①「Windows キー ＋r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

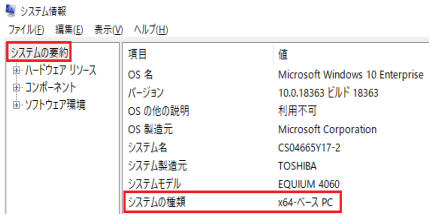
※ Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

② 名前欄に「msinfo32」と入力しＯＫをクリックします。(「」は入力不要です。)

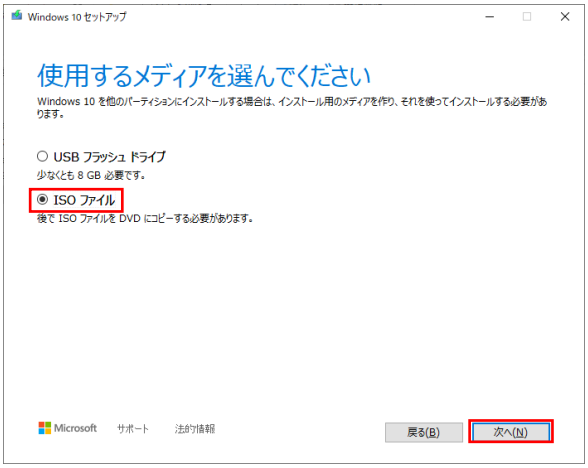


③ 「システム情報」画面の「システムの種類」を確認します。

※ x64 :64 ビット／x86 :32 ビット



(6) 使用するメディアは「ＩＳＯファイル」を選択して「次へ」をクリックします。
※ＩＳＯファイルの保存先は任意ですが、十分な空きのあるドライブ(最低 8GB 以上)に保存してください。



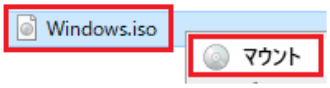
(7)「ＩＳＯファイルをＤＶＤにコピーしてください」が表示されたら、当該画面を「完了」ボタンをクリックして閉じます。（ＤＶＤへのコピーは不要です。）

(8)「Windows.iso」が作成されていることを確認します。



2．DFW35 のインストール

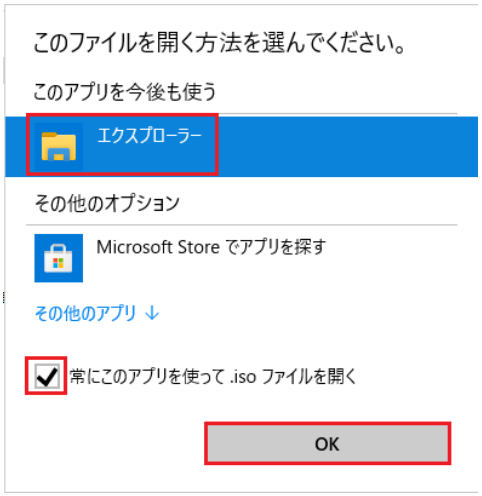
(1) 上記 1．(8)で作成した ISO ファイルを右クリックして「マウント」を選択します。



【ご参考】エクスプローラーで「マウント」メニューが表示されない場合

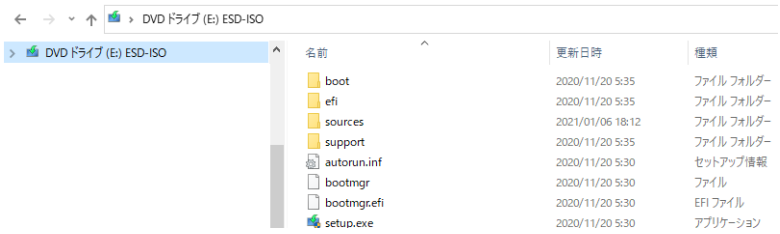
①Windows.iso のファイルを右クリックから「プログラムから開く」をクリックします。

②「このアプリを今後も使う」で「エクスプローラー」を選択し、「常にこのアプリを使って.iso ファイルを開く」にチェックをつけてＯＫをクリックします。

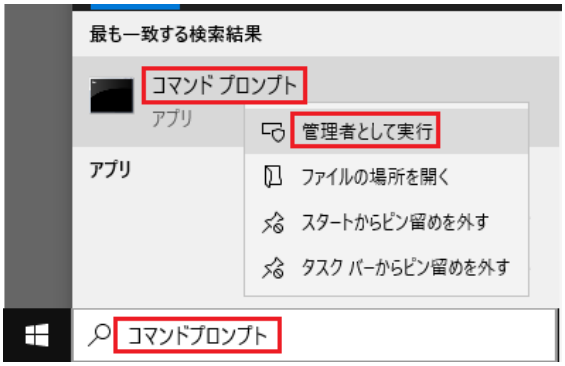


③再度、Windows.iso を右クリックし、「マウント」が表示されることを確認します。

(2) マウントされた ISO ファイルがどの仮想ドライブに割り当てられたか確認します。
（下記例ではＥドライブ）



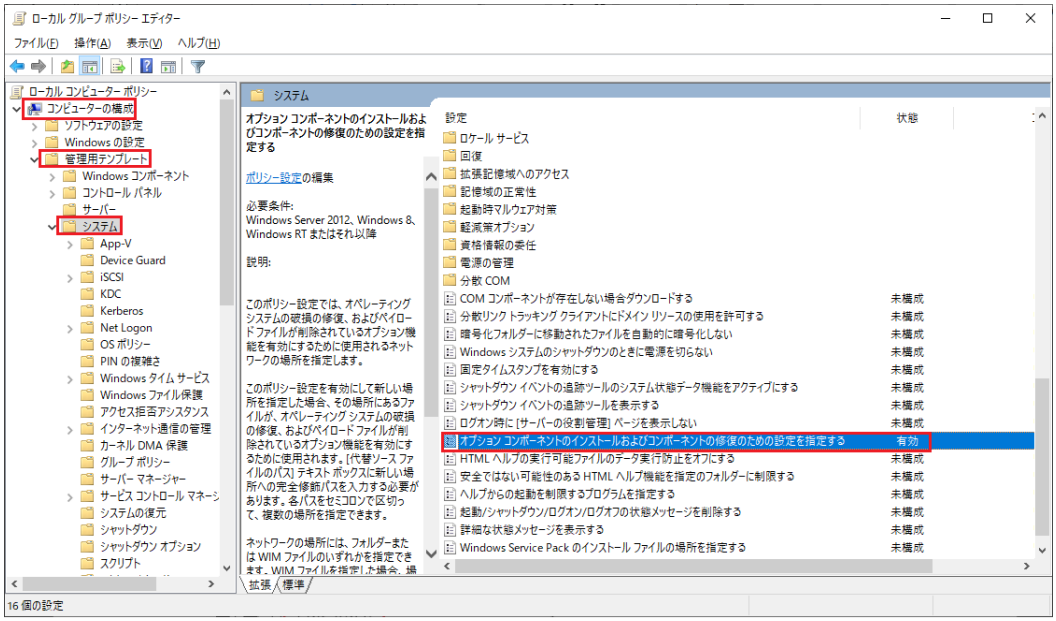
(3) 検索窓に「コマンドプロンプト」と入力し、検索結果の「コマンドプロンプト」（アプリ)を右クリックから「管理者として実行」より実行します。



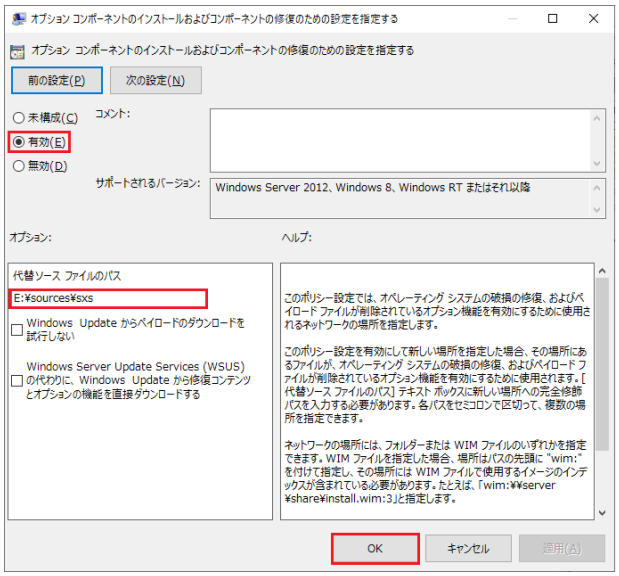
(4) コマンドプロンプトで「gpedit.msc」を入力しエンターキーを押します。
(「」はご入力不要です。)



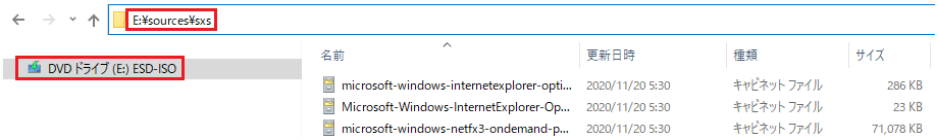
(5) 「ローカルグループポリシーエディター」画面が開いたら下記を選択します。
コンピュータの構成＞管理用テンプレート＞システム＞「オプションコンポーネントのインストールおよびコンポーネントの修復のための設定を指定する」をダブルクリックします。



(6) ［有効］にチェック後、［代替ソースのファイルパス］に、上記２．(2)で確認した ISO ファイルのパス($:¥sources¥sxs)を入力しＯＫをクリックします。

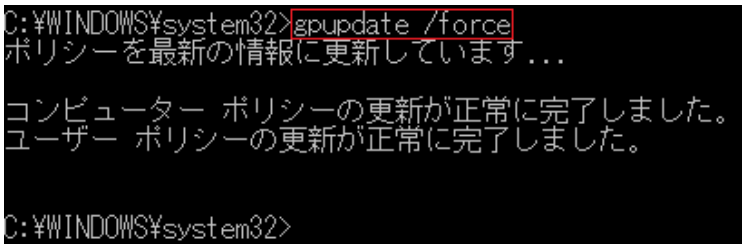


※　上記２．(2)の例では「E:¥sources¥sxs」となります。



(7) コマンドプロンプトで「gpupdate /force」を入力しエンターキーを押下します。
(「」はご入力不要です。)

※　gpupdate の後には、半角空白が入ります。



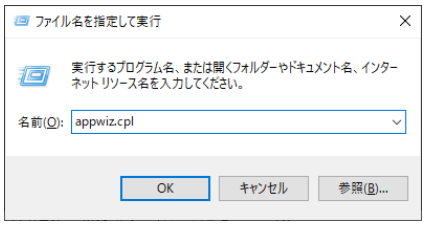
正常に完了した旨のメッセージが表示されたら、画面右上の「×」ボタンよりコマンドプロンプトを閉じます。

(8) DFW35 が有効化できるか確認します。

①「Windows キー ＋r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

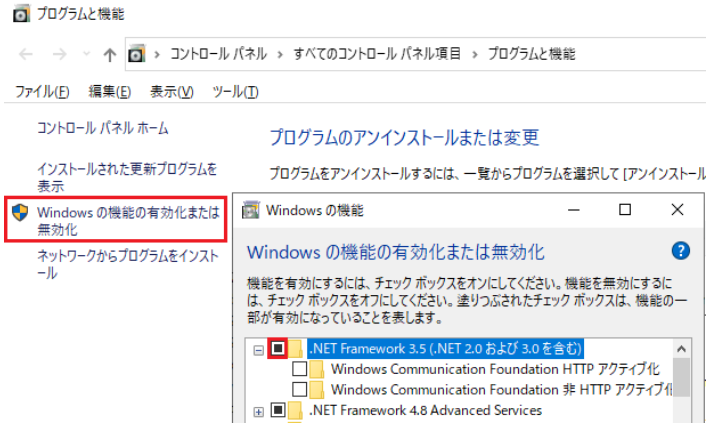
※ Windows キーは、キーボード左下の Windows の窓マークのキーです。

②名前欄に「appwiz.cpl」と入力しＯＫをクリックします。
(「」はご入力不要です。)



③「Windows の機能の有効化または無効化」のリンクをクリックし、「Windows の機能」画面を表示します。

④「.NET Framework 3.5(.NET2.0 および 3.0 を含む)」にチェックをつけて有効化します。



3．DFW35 のインストール確認

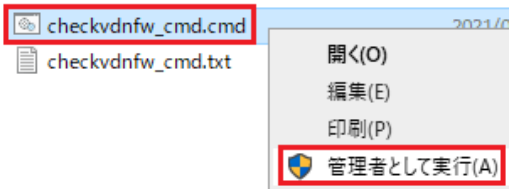
(1) 「checkvdnfw_cmd.txt」をデスクトップなど任意の場所に貼り付けてください。

(2) ファイル名を「checkvdnfw_cmd.cmd」に変更します。

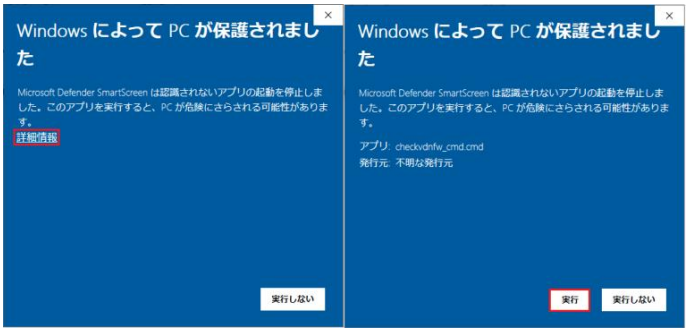
※ ファイルをクリックし、F2 キーでリネームします。

(3) 当該ファイルを右クリックから「管理者として実行」より実行します。

※うまく実行できない場合は、当該ファイルをダブルクリックしてください。

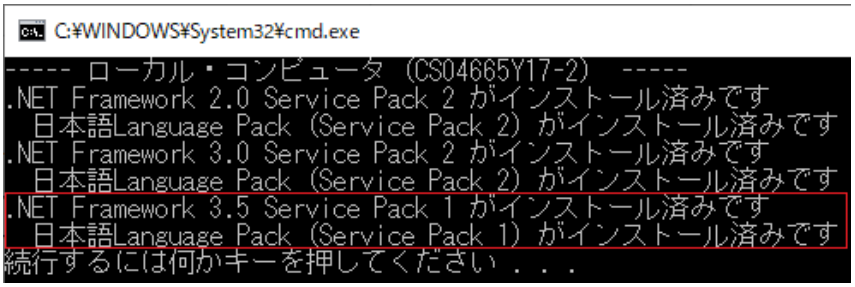


※「Windows によってＰＣが保護されました」と表示される場合は、「詳細情報」のリンクをクリックし、「実行」ボタンをクリックしてください。



(4) 「.NET Framework 3.5 Service Pack1 がインストール済みです」と表示されれば正しくインストールされていることが確認できます。

※日本語 Language Pack(Service Pack 1)もインストールされます。



(5) 上記(4)でインストールの確認後は、作成いただいた上記１．(8)の「Windows.iso」ファイルと上記３．(1)(2)のファイルは不要なため削除してください。

上記ご対応でも DFW35 がインストールできない場合は、下記Ⅱの方法をお試しください。

【ご参考】NET Framework 3.5 インストール時のエラー0x800F0906、0x800F081F、0x800F0907、0x800F0922

https://docs.microsoft.com/ja-jp/troubleshoot/windows-client/application-management/dotnet-framework-35-installation-error

Ⅱ　システムのＩＳＯ（DVD）より DFW35 をインストールする方法

※ＴＫＣシステムで利用する.NET Framework3.5(SP1)はシステム共通となります。
　下記は連結納税システムのＩＳＯを利用した DFW35 のインストール方法ですが、ご利用のシステムが eTaxEffect、ASP1000R など連結納税システム以外の場合でも下記の方法で共通にご対応いただけます。

１．連結納税システムのＩＳＯの取得

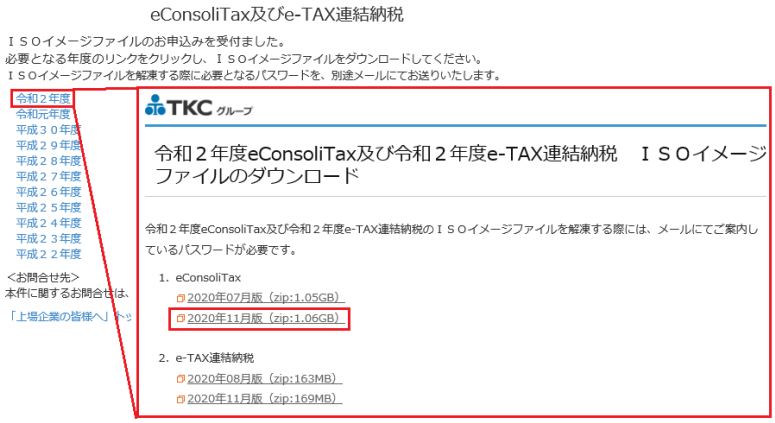
※連結納税システムのＤＶＤ（年度や版数は問いません）をお持ちの場合、下記のＩＳＯファイルを利用する代わりに、ＤＶＤをご利用いただくことも可能です。
　連結納税システムのＤＶＤを利用する場合は、下記「２．DFW35 のインストール」より作業を行ってください。

(1) 下記のＵＲＬにアクセスいただき、「こちら」のリンクより手順書のＰＤＦをダウンロードします。
https://www.prft.tkc.co.jp/SystemqaCPNYFree/Main/QaItem.aspx?system_id=281&category_id=2168&item_id=0095589

(2) ＰＤＦの回答欄【A】１．の「※書き」の URL(=下記 URL)にアクセスします。
https://tkcexpress.tkc.co.jp/l/385522/2020-02-12/bl422x

(3) ＰＤＦの回答欄【A】５．のISOイメージファイルのお申込み用のフォームが表示されるので、各欄をご入力いただき「送信」ボタンを押下してください。
※連結納税システムのＩＳＯのダウンロードに料金は発生しません。（無料です。）
※ご入力いただいた情報は、zipを展開いただくためのパスワードをお送りするために利用するのみで、他の目的には一切利用しません。

(4) ＰＤＦの回答欄【A】６．～８．までの手順に従って、最新年度の最新版の連結納税システム(eConsoliTax)のISOファイルをダウンロードしてください。
※以降は例として最新版が令和2年度[2020年11月版]の場合で説明します。
　当該リンクをクリックすると、「R02-eCT-202011.zip」がダウンロードされます。

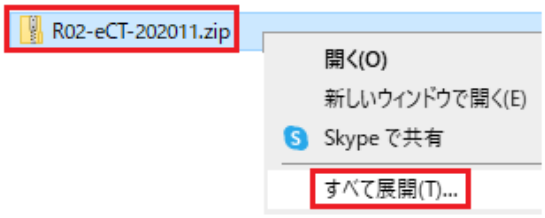


(5) ダウンロードされたzipファイルを展開してください。

展開パスワードは、上記１．(3)でご入力いただいたメールアドレスに通知されます。

※　メールが届かない場合は、下記のパスワード(LP…)を利用して展開します。

パスワード：LPuNWatYRLe8



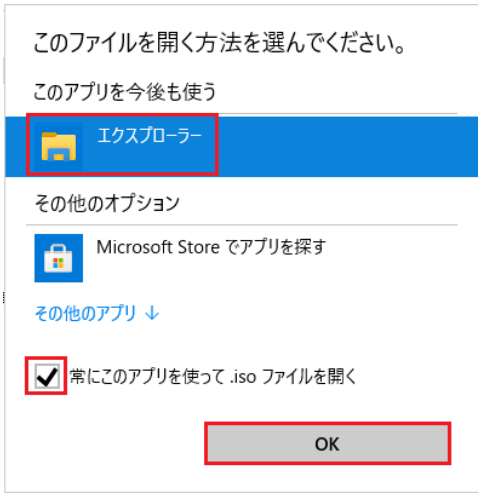
(6) zipを展開すると同名のフォルダ内にＩＳＯファイルが格納されていることを確認します。

(下記の例は、令和2年度版[2020年11月版]のＩＳＯファイル「R02REN2011.iso」)

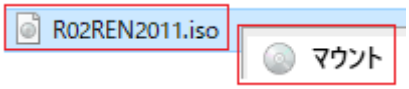


(7) ISO ファイルを右クリックし、「マウント」をクリックします。

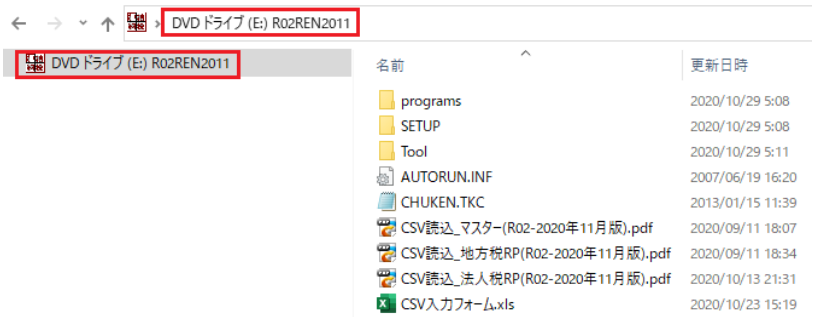
【ご参考】エクスプローラーで「マウント」メニューが表示されない場合
①ISO ファイルを右クリックから「プログラムから開く」をクリックします。
②「このアプリを今後も使う」で「エクスプローラー」を選択し、「常にこのアプリを使って.iso ファイルを開く」にチェックをつけてＯＫをクリックします。



③再度、ISO ファイルを右クリックし、「マウント」が表示されることを確認します。

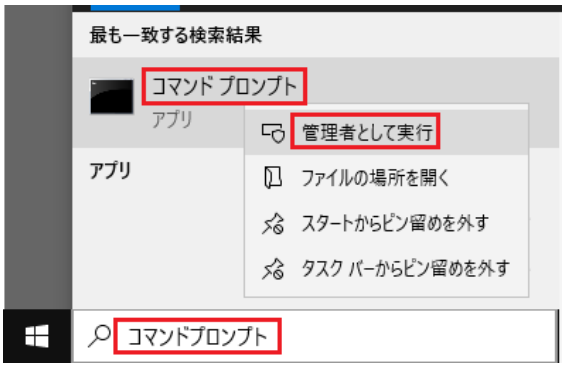


(8) マウントされた ISO ファイルがどの仮想ドライブに割り当てられたか確認します。
（下記例ではＥドライブ）

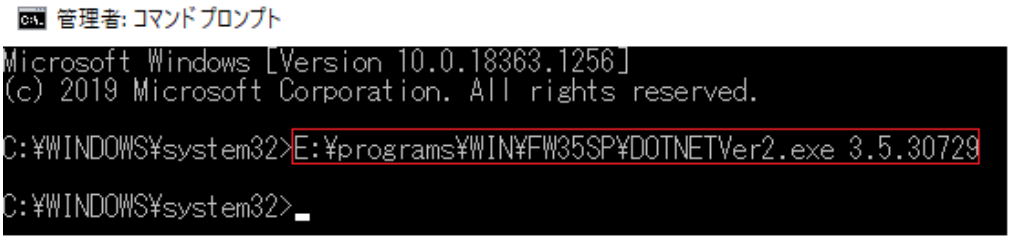


2．DFW35 のインストール

(1) 検索窓に「コマンドプロンプト」と入力し、検索結果の「コマンドプロンプト」(アプリ)を右クリックから「管理者として実行」より実行します。



(2) コマンドプロンプトに、下記のコマンドを入力し、Enter キーを押下します。
(「」はご入力不要です。)
「?:¥programs¥WIN¥FW35SP¥DOTNETVer2.exe 3.5.30729」
※「？」は上記１．(8)で ISO ファイルをマウントした、仮想ドライブのドライブレターに置き換えてください。(例) E など
　また、連結納税システムのＤＶＤを利用する場合は、「？」はＤＶＤドライブのドライブレターに置き換えてください。(例) Ｄなど
※exe の後は半角スペースが入ります。



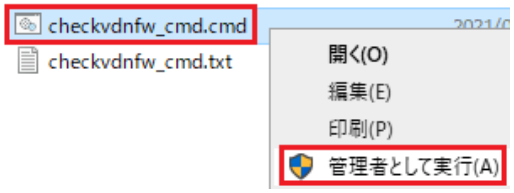
(注)上記コマンドを実行しても、コマンドプロンプトの画面は上記のように表示されて何も変化がないように見えますが、DFW35 のインストールは行われている状態です。
(DVD をご利用の場合は、DVD ドライブが動作するのが分かります。)
　インストール作業中やインストール終了時に何もメッセージが表示されないため、PC(OS)は終了せずに、20 分程度そのままお待ちください。
(インストールを待つ間は、コマンドプロンプトを閉じていただき、他の作業をしていただいて大丈夫です。)

3．DFW35 のインストール確認

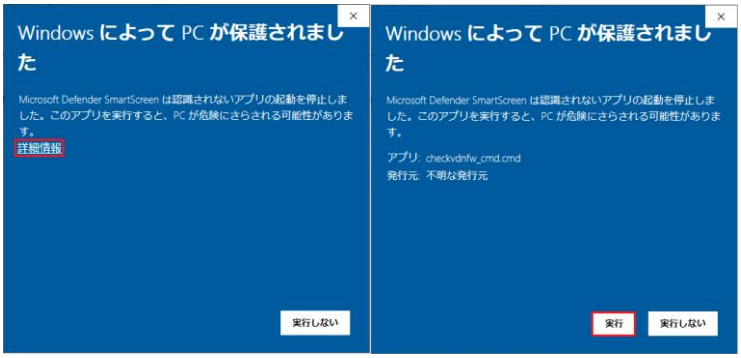
(1) 「checkvdnfw_cmd.txt」をデスクトップなどに貼り付けてください。

(2) ファイル名を「checkvdnfw_cmd.cmd」に変更します。
※ ファイルをクリックし、F2 キーでリネームします。

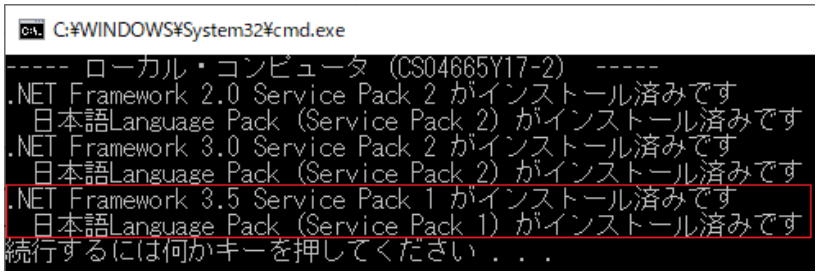
(3) 当該ファイルを右クリックから「管理者として実行」より実行します。
※うまく実行できない場合は、当該ファイルをダブルクリックしてください。



※「Windows によってＰＣが保護されました」と表示される場合は、「詳細情報」のリンクをクリックし、「実行」ボタンをクリックしてください。



(4)「.NET Framework 3.5 Service Pack1 がインストール済みです」と表示されれば正しくインストールされていることが確認できます。
※日本語 Language Pack(Service Pack 1)もインストールされます。



(5) 上記(4)でインストールの確認までできたら、ダウンロードいただいた上記１．(5)のISO ファイルや上記３．(1)(2)のファイルは不要なため削除してください。

以　上